

# 令和3年度 AIいちご生産イノベーションモデル創出事業 定期レポート vol.2 (2022年2月号)

新品種「とちあいか」の栽培にAIを導入



「とちあいかAIコンソーシアム」参画メンバー

- 栃木県
- はが野農業協同組合（JAはが野）
- 全国農業協同組合連合会栃木県本部（JA全農とちぎ）
- 株式会社ブルーフィールド
- 真岡市
- 上野孝明
- PwCあらた有限責任監査法人

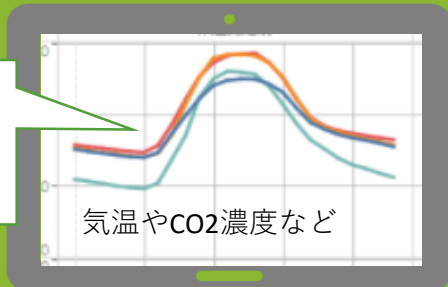
## 開発中のシステムではどのような事ができるようになる？

とちあいかの栽培の高度化に向けて以下の機能等について検討を行っています。

### 1.ハウス内環境の見える化と比較

ハウスに設置した各種センサーがリアルタイムで情報を取得し、スマホなどから温度などの確認ができます。

他生産者の栽培環境と比較表示



気温やCO2濃度など

また、栽培マニュアルや他の生産者との比較が行えます。

### 2.収量の予測

花数と気温から収穫日ごとの収量を予測するツールを開発しています。

予測収量と実際の収量のグラフを表示



収量予測

収穫の山谷の把握による繁忙期の予見や、収量の推移の振り返りによる栽培の改善が可能となります。



生産者

PCやスマートフォンから気軽にチェックできる！

※上記以外に、光合成量や着花負担の見積などについても検討しています。

## アドバイザーの先生方からのメッセージ

外部有識者として参画されているお2人の先生方に、本事業に期待することをお聞きました。

### 岩崎泰永 先生

所属：明治大学 農学部教授

研究テーマ：施設園芸における地上部、地下部の統合的環境制御



日本一の産地が取り組む技術開発であり、研究成果は国内外に大きな影響を与えることが期待されます。

既存の概念にとらわれない斬新なアイデアで新しい技術の開発に結び付けていただきたいと思います。

### 内藤 裕貴 先生

所属：農研機構基盤技術研究本部  
農業ロボティクス研究センター

研究テーマ：施設園芸の省力化・高付加価値化に資する作業ロボット・生育モニタリングの開発



栃木県のいちご生産にAIが浸透し、次世代へと繋がる産地の優良事例となることを期待します。地域の基幹産業であるいちご生産の一助となるよう、微力ながら開発に協力させていただきます。